

科目区分	専門教育科目	科目名	社会と制度の理解Ⅲ		科目コード	17F350	担当者	長尾 久美子			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
高齢者や障害者が、自分らしい生活を送るために必要な利用者の権利擁護のしくみや生活を支える制度を理解する。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	人々の権利を擁護する諸制度を理解する。										
2.	保健医療にかかわる施策を理解する。										
3.	生活保護や高齢者の住生活を支える制度を理解する。										
4.								◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（60%） 臨時試験（30%） 受講態度（10%）					
講義を基本とするが、高齢者や障害者などの権利や擁護するしくみなど具体的に理解できるように、当事者からの話を聞いたり、ドキュメンタリーなどの視覚教材などを使用したりする。また、授業ごとに、理解状況確認のための小テストを実施する。											
準備学修						課題等への対応					
授業計画に掲げる主題に対し、事前に教科書を読んでおくこと。日頃から新聞に目を通す習慣をつけ、社会の動きに関心を持つこと。通常の学習時間は30分程度とするが、小テストの復習や同種の国家試験問題を練習するなど、主題が十分理解できるよう相当の時間を確保すること。						小テストは授業最後に実施し、自己採点のうえ回収する。次回までに集計・分析をして次の授業に反映させる。成績が悪い学生には再提出を求める。					
授業計画											
第1回	生活を支える制度の体系と概要										
第2回	社会福祉における権利擁護のしくみ（日常生活自立支援事業）										
第3回	成年後見制度										
第4回	高齢者虐待防止制度										
第5回	障害者虐待防止制度										
第6回	児童虐待防止制度										
第7回	障害者差別解消法										
第8回	個人情報の保護に関する制度										
第9回	消費者保護に関する制度										
第10回	保健医療に関わる諸施策（生活習慣病予防、健康づくり）										
第11回	保健医療に関わる諸施策（感染症対策、難病対策）										
第12回	医療に関わる法制度										
第13回	生活保護制度										
第14回	社会手当										
第15回	高齢者・障害者の住生活を支援する諸制度										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
教科書 「社会と制度の理解」（新・介護福祉士養成講座第2巻） 編集：介護福祉士養成講座編集委員会 出版：中央法規 参考書 「介護福祉士国試ナビ2018」（中央法規） 「QB介護福祉士国家試験問題解説2018」（MEDIC MEDIA）						高齢者や障害者の声に耳を傾け、権利を守ることができるように学びましょう。					